

<地域創生Tech Program>

日 程	11月26日(土) 午前
プログラム	課題提示・レポート作成①
ね ら い	志望する課程・系に応じた専門基礎力などをみる。
要 約	各課程・系の午前のプログラムと同じ内容を実施した。(一部、実施時間の関係で全く同じ内容ではない課程がある。詳細は、各課程・系の午前に実施したプログラムの要約を参照。)

日 程	11月26日(土) 午後
プログラム	課題提示・レポート作成②
ね ら い	地域社会等の課題に対する理解力、分析力、提案力などをみる。
要 約	別紙のレポートを課した。(全課程・系共通、解答時間90分)

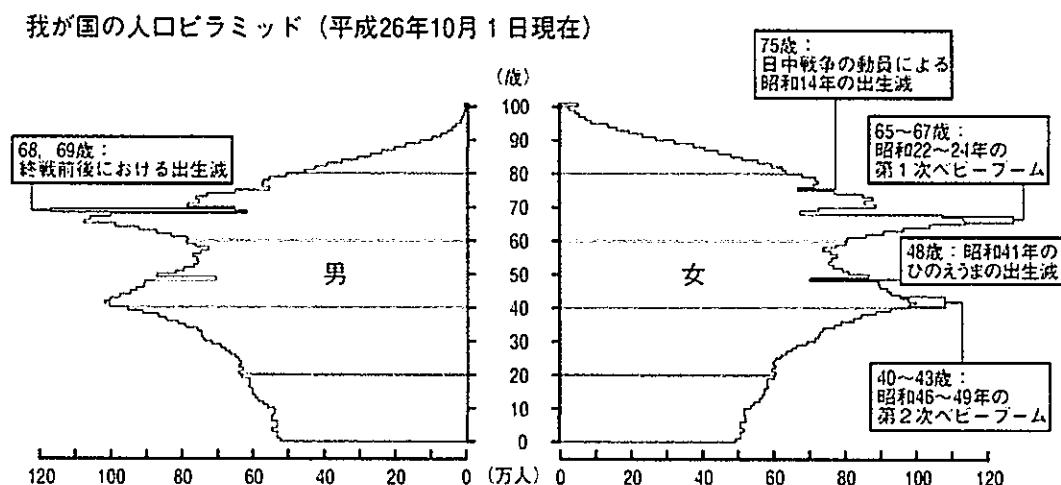
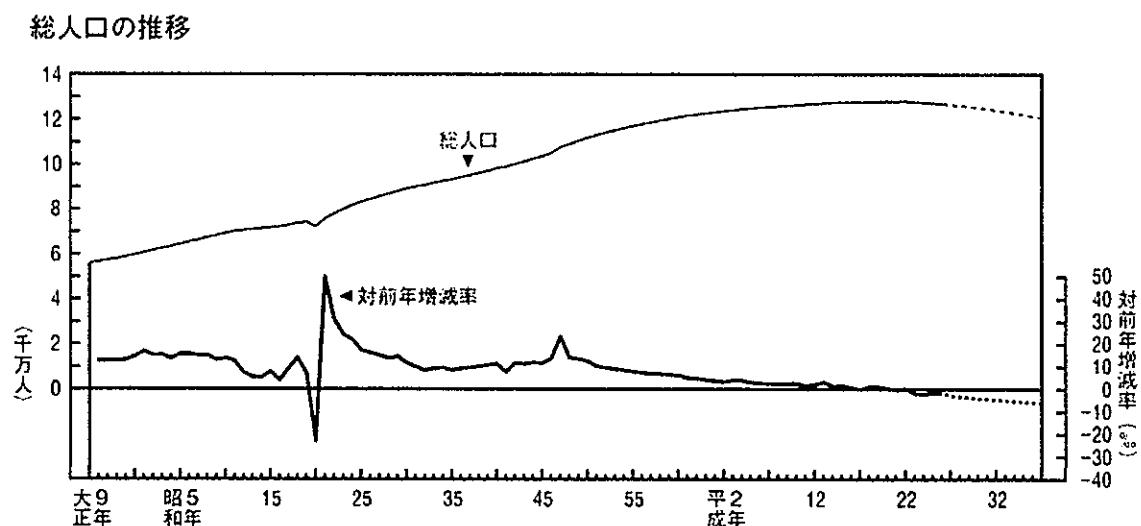
平成 29 年度ダビンチ（A O）入試最終選考
地域創生 Tech Program【一般】【地域】【社会人】

課題提示・レポート作成② (90 分)

〔注意事項〕

1. 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙は 2 枚あります。それぞれの解答用紙に受験番号を必ず記入しなさい。
3. この冊子は、問題 1 ページからなっています。落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
4. 下書き用紙は 2 枚あります。自由に使ってよろしい。
5. 解答は、解答する解答用紙を間違えないよう、必ず「解答用紙 1」「解答用紙 2」の指定された場所に記入しなさい。
6. 解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
7. この冊子と、下書き用紙 2 枚は、持ち帰りなさい。

1. 下記の図は、総務省統計局のホームページに掲載されている日本の「総人口の推移」と「我が国の人ロピラミッド」(平成 26 年 10 月)である。これらを参考に、これから日本のあり方と大学の役割について、あなたの意見を述べよ。(600 字以上 1000 字以内)



(<http://www.stat.go.jp/data/nihon/02.htm>)

注) 対前年増減率(%)の単位(%)は、1000分の1を1とする単位であり、パーミルあるいはプロミルと読む。

2. インターネット時代に生きるあなたが描く近未来像を述べよ。次に、そのような社会であなた自身が、理工系技術者としてやりたいことを述べよ。(600字以上1000字以内)